

防災意識を高める

パンフレット

浜松小学校 6年生

災害が起きたとき、けが人がいたらどうやって助けますか？

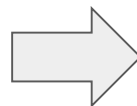
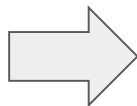
避難しているとき怪我人がいたら

そんなときには「たんか」があるといいですね。

たんかは、急いで逃げることができない人をのせて安全な所まで運ぶための道具です。そして、逃げるため簡単に作ったたんかを「即席たんか」と言います。

用意するもの・・・長い棒を2本、伸びてもいいTシャツ（長袖でも良い）

作り方・・・2人が、長い棒を持ったままの状態、シャツを脱がしてもらう。そうすると、シャツを棒に通す事ができる。何回かやって、隙間を無くしたら完成。



浸水してしまったらどんな事が起こるか知っていますか？

もし、津波で浜松小学校が浸水してしまったら

扉は浸水何cmで開かなくなるとおもいますか。 扉は浸水50cmで開かなくなってしまう。

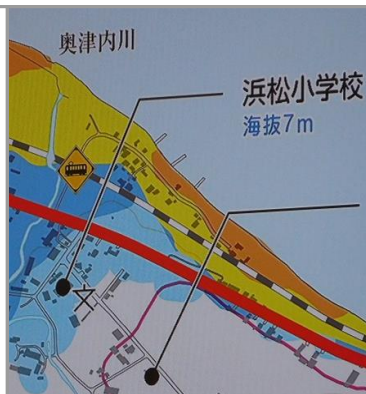
他にも、浸水30cmの水が流れてくると階段を登ることが困難になります。

このように、浸水してしまったら逃げるのが難しくなってきます。



もし、浜松小学校が浸水したらタブレットを使って1mの浸水を体験してみました。

大体、おへそのところぐらいまで来ました。



浜松小学校は、大体2m浸水してしまいます。

50cmや30cmで扉が開かなくなったりしてしまうのに、2m浸水してしまったら大変なことになってしまうのではないのでしょうか。

皆さんは、北海Do防災カルタをしたことはありますか？

北海Do防災カルタとは、北海道ならではの自然災害リスクや防災に関する知識が身につく防災教育教材です。年齢に関係なく誰でも、楽しくカルタ遊びをしながら防災のことを知れるかるたです。私は、2回ほどやったことがあります。

北海Do防災カルタには、「さいがいよう でんごん だいやる いち なな いち」というのが、あります。下の写真は、その取札の絵です。

ぜひ、買って（借りて？）遊んでみてください。（私達は、八雲町役場総務課防災係にお借りしました。）

北海道気象協会北海道支社
1,320円



防災のまとめ

2 m浸水するとみんな溺れてしまうね。



即席たんかとは、皆さんが持っている服を使うだけで、「人を助ける道具」に変わります。

津波から安全に避難するには、自分が住んでいる地域の浸水の高さについて知ったり、周りの人と情報交換をしたりして安全に避難しましょう。

NHKの方のお話

自然の力を理解して、油断しないこと。
安全を守って、いざというときに今回の学習をいかせるようになることが大切。

北海Do防災カルタは、自然災害リスクや防災に関する知識を深められ、いざというときにその知識が自分のためになります。

皆さんも、防災の知識を深めて、毎日を安全に過ごしましょう。